



五中だより

府中市立府中第五中学校

校長 酒井 泰

平成 29年9月13日 No.5

努力する人は希望を語る

2学期が始まりました。始業式で生徒たちに、「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」という言葉を紹介しました。この言葉は、芥川賞作家で「天平の甍」「しろばんば」「敦煌」などの作品で知られる井上靖さんの言葉です。私は、次のようにこの言葉を紹介しました。「井上さんは、人が希望を語っていれば、『この人は努力する人』なのだとわかりますし、不満を語っていれば、『この人は怠ける人』なのだとわかります。両者の違いは、結果として明らかになるでしょう。怠ける人より努力する人が結果を出すのは明らかです。両者を分けるものは、どこに目を向けるかであり、怠けようとする自分に打ち勝てるかどうかです。どうも我々は、ついつい現状の不満ばかりに目を向け努力を怠る癖があるようです。本当は不満があるから怠けるというより、怠けたいから不満を探すという方が適切かもしれません。私たちは、そうならないために、意識的に希望に目を向けていく努力が必要なのかもしれません。皆さんは、折に触れ、この言葉を思い出し、今の自分はどちらなのか自分自身に問いかけてみてはどうでしょう。」

五中生すべてが希望を語る人であってほしいと願っています。

修学旅行が行われました

8月30日（水）から2泊3日で京都・奈良への3年生の修学旅行が実施されました。3年生の日ごろの行いが良いお陰で、晴天に恵まれた上に夏とは思えない涼しさに絶好の環境で過ごすことができました。全体で訪問する寺社・仏閣等も混雑することなく、見学に集中することができました。

特に2日目は、法隆寺、薬師寺、東大寺（奈良公園の班行動）、平等院、青蓮院と奈良・京都の有名な見どころを一気に訪問しました。恥ずかしいことですが、私自身は中学生の修学旅行ではどのお寺の仏像だったのか、後で区別がつかない状況でしたが、五中生は、事前の下調べが十分だったおかげで、そのようなことはなく、きちんと内容を理解した上での学習をしていたと感じました。バスの乗務員さんや宿泊施設の担当の方々から、「よく話を聞いてくれはりますし、よく調べて来てはりますね」という感想をいただいたときは、とても嬉しく思うと同時に、五中生のことを誇らしくさえ感じました。

たくさんの思い出ができたと思いますが、楽しく集団行動ができた理由は、一人一人が自分のことより班員や学級のことを考えた自覚ある行動ができたからだと思っています。今後の学校生活に生かしてほしいと願っています。



アリーナの外壁工事が行われています

8月下旬から12月中旬まで、本校のアリーナの外壁及び屋上プールの修理が行われます。すでに、工事用の足場が組まれ、作業が本格的になっています。工事の関係者と十分に打ち合わせを行い、生徒の安全確保を第一に作業を進めてまいりますのでご理解とご協力をお願いいたします。本工事に伴い、南門の出入りができなくなりましたし、武道場やアリーナへの出入りも特別のルート設定がなされています。学校行事等で訪問される際には、掲示等をご覧ください、指示に従っていただければ幸いです。

なお、本工事についてお気づきの点等がございましたら、遠慮なく、副校長までご連絡いただきたいと思います。



コミュニティ・スクール推進委員会報告

7月26日（水）の午後7時から第3回コミュニティ・スクール推進委員会を開催いたしました。今回は、「学校運営予算」について協議しました。

本年度の本校の運営予算の概要を説明した後、予算執行に伴う課題や今後の必要経費についてのご意見をいただきました。この中で、本年度の学校施設の修繕計画等についてもご説明いたしました。次回は、9月20日（水）午後7時から第4回の委員会を開催する予定です。テーマは「コミュニティ・スクールの運営の在り方について」を予定しています。



道徳授業地区公開講座が開催されます

9月16日（土）は、通常の授業公開に加え、道徳授業地区公開講座として道徳の授業とその後の講演会を開催いたします。今年のテーマは「命の大切さ」です。当日の授業では教員がこのテーマに迫るべく、読み物資料を使い、生徒の考えや思いを引き出します。授業の中で自分とは違う、様々な意見を聞くことで生徒たちは、考え、悩み、そして自分なりのよりよい方向性を見つけることができると思います。

ご多用な中、誠に恐縮ですが、ぜひ生徒たちと一緒に「生命の大切さ」を考えていただければと思います。多くの保護者・地域の方々のご参加をお願いいたします。